

令和3年第14回栗原市教育委員会定例会会議録

1 招集日時 令和3年11月25日(木) 午後2時

2 招集場所 金成庁舎201会議室

3 出席委員

1番 笠間八十公 委員 3番 久我一仁 委員
4番 千葉みどり 委員

4 説明のため出席した者

教育長	佐藤新一
部長	白鳥嘉浩
次長	尾形寿美
次長	古山明宏
教育総務課長	菅原浩志
学校教育課長	菅原主税
学校教育課副参事	菅原博
社会教育課長	佐々木英則
文化財保護課長	千葉長彦
教育研究センター長	松田良幸
教育研究センター副参事	遠藤俊哉

5 本委員会の書記は次のとおりである

教育総務課長補佐 菅原正広

6 出席点呼・開会

午後2時

教育長 本日、蘇武委員が欠席しておりますが、教育長及び教育委員の過半数が出席しておりますので、直ちに会議を開きます。

7 教育委員会会議録の承認

教育長 それでは、3 教育委員会会議録の承認について、事務局に内容の説明を求めます。

事務局 (令和3年10月28日開催の令和3年第13回栗原市教育委員会定例会概要を説明)

教育長 説明が終わりました。何か質問はありませんか。

(なしの声あり)

質問がないようですので、異議なしと認め、令和3年第13回教育委

員会定例会会議録は、承認することとします。

8 教育委員会会議録署名委員の指名

教育長 次に、4 教育委員会会議録署名委員の指名を行います。3番 久我委員、4番 千葉委員に会議録の署名をお願いします。

9 教育長報告

(1) 一般事務報告

教育長 次に、5 教育長報告を行います。

(1) 一般事務報告について、配布資料を御覧ください。

第13回教育委員会定例会後の主な対応事業について、掻い摘んで説明いたします。11月2日令和3年永年勤続表彰式が仙台国際センターで行われました。栗原市関係で、小学校の3人の先生が永年勤続表彰ということで表彰されております。例年に比べると今年度は少なく、昨年度は9人おりました。11月10日の水曜日に、宮城県の中学校国語弁論大会が若柳中学校を会場に行われました。県内各校から代表が集まって行われ、栗原市から出場した志波姫中学校の男子生徒が優秀賞ということで表彰を受けております。会場となった若柳中学校の生徒の話聞く態度は素晴らしかった。11月12日に令和3年度教育功績者表彰式が宮城県東北歴史博物館で行われ、笠間委員が石越小学校の歯科校医ということで、長年の実績を認められ表彰を受けております。11月18日に栗原地区更生保護女性会60周年記念のつどいがホテル浦島で行われ、先ほど教育長室でお見せしたカルタを学校と図書館に寄贈いただいております。11月19日の金曜日に、令和3年度の第1回スポーツ推進審議会が金成庁舎で行い審議会の会長に一迫の久我俊一委員、副会長に高清水の佐藤健治委員が選ばれ、今年度から来年度にかけて、令和5年以降の栗原市のスポーツ推進計画の策定に手掛けていく予定です。

2番の児童・生徒及び教職員の状況については、別紙2、3ページをご覧ください。

不登校の生徒ですが、小学校は7人ですが、中学校が61人になり、昨年度の数を超えました。この調子で行くと、昨年度よりかなり超過するのではないかと心配しているところでもあります。その原因が多種多様であって、担当の話を見ると、生活が昼夜逆転していて生活状況が乱れている子が、夏休み以降に多く出てきたということで、全体数が増えているという話を伺っております。支援室と連携しながら一人ひとりに応じた対応を行っていきたいと思います。

問題行動関係は資料のとおり小学校は、授業の抜け出し、授業妨害が昨年に比べて少なくはなっておりますが、いまだにそれだけの数が

出ている状況であります。

(2) の事故、けが等についてはございませんでした。

(3) のその他で、自殺未遂ではなく、自殺しようと思ったが途中で思いとどまったというケースで、学校と警察が連絡を取りながら対応しています。母親が子どもとの関りをだいぶ意識するようになって、一緒に寄り添ってくれるようになった。家庭と学校が連携を取りながら今後の様子を見守りながら対応していくということです。

何かご質問はございませんか。

笠間委員

不登校が増えてきているということで、その理由が多種多様というお話がありましたけれども、いじめに関して学校でアンケートを取っていると思いますが、年に1回ですとなかなか、声が拾えないこともあるかと思うのですが、年何回のアンケートを実施しているのでしょうか。

学校教育課副参事

学校生活アンケートとして行っている学校がほとんどですが、学校ごとに異なっておりまして、月に1回行っている学校や2か月に1回、夏休み前に行っているとか、様々であります。

教育長

大体は月1回で、前回の委員会で話がありましたが、だれが書いたのか分からないように行うようにしています。また、書いて封筒で出させている学校もあるようです。何かしらは必ず書いて、その中で困っていることなど書いて提出するといった方法をとっています。

笠間委員

結局、子どもが書かないと先生方も気づけないと思いますので、月に1回や、2か月に1回と学校によって違いはあるようですけれども、できるだけ子どもたちの声を拾えるようなことを行っていたらと思います。

教育長

アンケートも大事ですが、私が思うのは教師の見る目や判断が一番確かだと思っていて、こういう子どもと向き合う時間、一緒にいる時間を多く取れるように配慮していかなければならないと思っています。忙しいからと言って見逃してしまうことのないようにしなければなりません。

久我委員

いじめに関してのアンケートについての関連ですが、今、教育長からお話がありましたが、無記名で分からないようにと言っていますが、学校によっては、その場で行ったりと学校ごとにまちまちなので、教育委員会としても、だれが書いたのかわからない、プライベートなところは見えないような形での提出方法を徹底して行っていたらと思います。どうしても、先生方もアンケートを実施しているという実績を重視するがために、その場で行いたいということがあったみたいなので、そうなると思った人が特定されたりしますので、特に小学校の高学年に関しては、そういったところは徹底していただければと思います。

久我委員

その他でお話しがあつた自殺未遂の件で、ショックを受けたのですが、当該校と生徒、また家庭の方と連携をしていただいて、卒業まで数か月ですが、しっかりと対応していただければと思いますし、担当の学校の方にも連絡していただきますようお願いいたします。

千葉委員

問題行動について小学校低学年に件数が多く見られますが、支援を必要とする子どもに対応する支援に入る先生方の研修等はどうに行われているのでしょうか。

教育研究センター長

支援に入る方は補助員で市の会計年度任用職員ですが、その方々を対象にした研修は、教育研究センターで今年度は3回予定していましたが、1回目の5月に予定して研修はコロナの関係で中止になってしまいました。10月と11月の2回実施しております。講師は金成支援学校の先生にお願いし「気になる子の対応の仕方」ということで講習会を開いております。

千葉委員

小学校の前段の幼稚園でもそういったお子さんがいると思うのですが、幼稚園の先生もそのような研修を受けているのでしょうか。

教育研究センター長
教育長

幼稚園、小学校、中学校の補助員も一緒に研修を受けています。
ほかに、御質問はございませんか。

(なしの声あり)

教育長
教育長

御質問がないようですので、(1)一般事務報告を終わります。
次に、6議事に入ります。

日程1、議案第56号栗原市奨学生選考委員会委員の人事については、人事に関する案件でありますので、秘密会として、御審議いただきたいと思いますが、御異議ございませんか。

(異議なしの声あり)

教育長

御異議なしと認め、日程1議案第56号は、秘密会として、審議します。

教育長
教育長

ここで、秘密会の取り扱いを終了いたします。

日程2、議案第57号栗原市少人数学級編制実施要綱の一部を改正する告示について、事務局に内容の説明を求めます。

学校教育課長

定例会資料1、5ページをお開き願います。

議案第57号、栗原市少人数学級編制実施要綱の一部を改正する告示について栗原市少人数学級編制実施要綱の一部を改正する告示を次のように定める。令和3年11月25日提出、栗原市教育委員会教育長でございます。

6ページをお開きください。6ページは、栗原市少人数学級編制実施要綱の一部を改正する告示であります。

次に、定例会資料2、1ページをお開き願います。

新旧対照表で改正の内容を説明いたします。改正内容については、令

和4年度の小学校及び義務教育学校前期課程の第1学年並びに第2学年における25人学級の実施にあたり、要綱の一部を次のとおり改正するものであります。第1条中「おいて」を「おける」に改め、第2条第1項中「市内小中学校」の次に「(次項に規定するものを除く。)」を加え、同条第3項を削り、同条第2項後段を削り、同項を同条第3項とし、同条第1項の次に2項、小学校及び義務教育学校の前期課程の第1学年及び第2学年において、少人数学級編制を行う場合の1学級当たりの児童数は、25人以下とする。を加えるものであります。

以上、よろしくご審議を賜りますようお願い申し上げます。

教育長

説明が終わりました。御質問は、ございませんか。

久我委員

25人学級につきましては市長の公約でもあり、現在の進捗状況と実現するにあたっての目標年度とかを教えていただければと思います。

学校教育課長

現在の進捗状況であります。今回の実施要綱を改正いたしまして、25人学級と今まで行ってきた35人学級を合わせて少人数学級となるわけですけれど、そちらの方の教員の募集を12月1日から開始いたします。1月7日まで募集いたしまして、選考試験を1月中旬に行いたいというような計画で進めているところであります。

全体的な25人学級の進め方ですが、まずは令和4年度に小学校の第1学年と第2学年で実施をいたしまして、その状況を見ながら3学年4学年と進めていくのかは検討していきたいと考えています。

千葉委員

25人以下の学級にすることによって、今後、何人程度の先生が必要になってくるのでしょうか。

学校教育課長

令和4年度に関しましては、第1学年と第2学年を25人学級にする場合、8人が必要になります。なお、35人学級であります7人が必要であります。

教育長

少人数学級とした場合の、市費教諭がそれだけ必要になるということでもあります。なので、一斉に全部の小学校を25人学級にすることは、不可能であり、まずは、1・2年生からということです。

笠間委員

数の問題もあるかと思いますが、選考試験や面談も行うと思いますが、先生の質の問題とか、先生の人数は必要だけれど、ご遠慮願いますということもあろうのでしょうか。

学校教育課長

今年度、採用の基準を変えました。今までは60歳未満の方で募集をしてきましたが、来年度に向けて大きな改正点のひとつとしては、年齢制限を外しました。学校の先生を現役で退職した方も、引き続き教育現場で市の職員として活躍していただきたいという思いから、年齢制限を外し学校を退職した先生方にもお願いしたいと、それによって質も保たれるのかなというところでもあります。

教育長

ほかに、御質問はございませんか。

(なしの声あり)

教育長 御質問がないようですので、原案のとおり可決してよろしいですか。

(異議なしの声あり)

教育長 御異議なしと認め、日程2、議案第57号栗原市少人数学級編制実施要綱の一部を改正する告示については、原案のとおり可決いたします。

教育長 次に、7、その他に入ります。事務局から報告があります。

教育総務課長 令和3年度栗原市教育委員会関係行事について説明をお願いします。定例会資料ナンバー2の2ページをご覧ください。

12月分の教育委員会関係行事であります。

主な関係行事としては、12月1日水曜日は、若柳公民館が開館となり、一般利用が開始されます。また、5日日曜日は、栗原地方青年文化祭が、一迫ふれあいホールで開催、7日火曜日から21日火曜日まで12月議会定例会が開催されます。また、19日日曜日は、大山日出男セクステットジャズコンサートが栗原文化会館で開催されるなど、以下、ご覧のような行事が予定されております。

説明は、以上となります。

教育長 次に、栗原地方青年文化祭2021について、説明をお願いします。

社会教育課長 定例会資料、追加の3の資料をご覧ください。

1ページをご覧ください。栗原青年文化祭2021について、でございます。宮城県教育委員会、栗原市教育委員会の主催で、栗原地方青年文化祭実行委員会が主管となり、12月5日日曜日、9時30分から一迫ふれあいホールを会場に開催します。ステージ発表と、展示発表がございます。こちらに記載の個人・団体の皆様が出演される予定です。是非、足を運んでいただきましてご覧いただきたいと思っております。

以上であります。

教育長 次に、第15回読売あをによし賞について、説明をお願いします。

文化財保護課長 3ページのA3版の三つ折りの資料をご覧ください。

この度、宮城県指定無形文化財の技術保持者である正藍染の千葉まつ江さんが、第15回読売あをによし賞を受賞されましたのでご紹介いたします。読売あをによし賞は読売新聞社が主催し行われているもので、文化遺産の保存、継承に功績を上げた人たちをたたえるもので、今回は59の個人及び団体の申し込みがあり、その中で最高賞である本賞を千葉まつ江さんが受賞したものであります。新型コロナウイルス感染症拡大のため、令和3年10月31日に大阪で行われた表彰式には千葉さんは参加せずオンラインでの参加でした。なお、この事業に関しましては11月18日付けの読売新聞社大阪本部の夕刊に掲載されたものを抜粋したものです。

教育長 説明が終わりました。御質問は、ございませんか。

(なしの声あり)

教育長 委員の皆さまから、何か、ございますか。

笠間委員

登米市の認定こども園で、この前、事件がありましたけど、新しくできたばかりのこども園で、保育士さん4人が男性だったからできたのかなと思いました。栗原市の幼稚園や保育所、こども園の男性職員の割合はどうなっているのかと思いました。さすまたで抵抗しようとしても、相手が男性で女性の保育士さんだったら、力で負けると思うのですが、栗原市はどのような状況になっているのでしょうか。

学校教育課長

正確な人数はわかりませんが、大体、1幼稚園、1保育所あたり1人、多くて2人程度が男性職員の人数となっております。さすまたを使っただけの訓練も行っておりますが、さすがに女性の職員となるとどうなのかとは思いますが。この間、築館警察署と築館管内の保育所長、園長の会議がありまして、とりあえず警察が来るまでは時間稼ぎの自分たちができることでやっていこうというのが一番ということの署長さんからのお話を頂いて、そのような訓練をやっていければと思います。

笠間委員

この前、新聞記事に高清水小学校の外国人の子どもたちを支援する「おむすび」を宮城教育大学の先生と仙台の団体と一緒に発足したと掲載されていましたが、これは高清水小学校がやっていることであって、教育委員会としての関りはないのでしょうか。

教育長

それに関しては、校長がメンバーとして関わっているのも、教育委員会がそれに関わっているわけではないです。

教育長

ほかにありませんか。

(なしの声あり)

質問がないようですので、7その他を終わります。

1 1 次回教育委員会の開催日程

教育長

次回教育委員会の日程についてお諮りします。

12月23日、木曜日、午後2時からとしては、いかがですか。

(異議なしの声あり)

それでは、次回定例会は、12月23日、木曜日、午後2時からの開催とさせていただきます。

1 2 閉会

教育長

以上を持ちまして、令和3年第14回栗原市教育委員会定例会を閉会いたします。

午後3時

1 3 本委員会の議決の次第は、次のとおりである。

日程 1 議案第56号 栗原市奨学生選考委員会委員の人事について

日程 2 議案第57号 栗原市少人数学級編制実施要綱の一部を改正する告示について

この会議録は、書記が作成したものであるが、その内容の正確なることを証するため、ここに署名する。

令和3年12月23日

会議録署名委員 _____

〃 _____